

神戸市会だより

2022年
令和4年
5月
No.213

ホームページでは神戸市会の最新情報をご覧ください。

神戸市会 | 検索

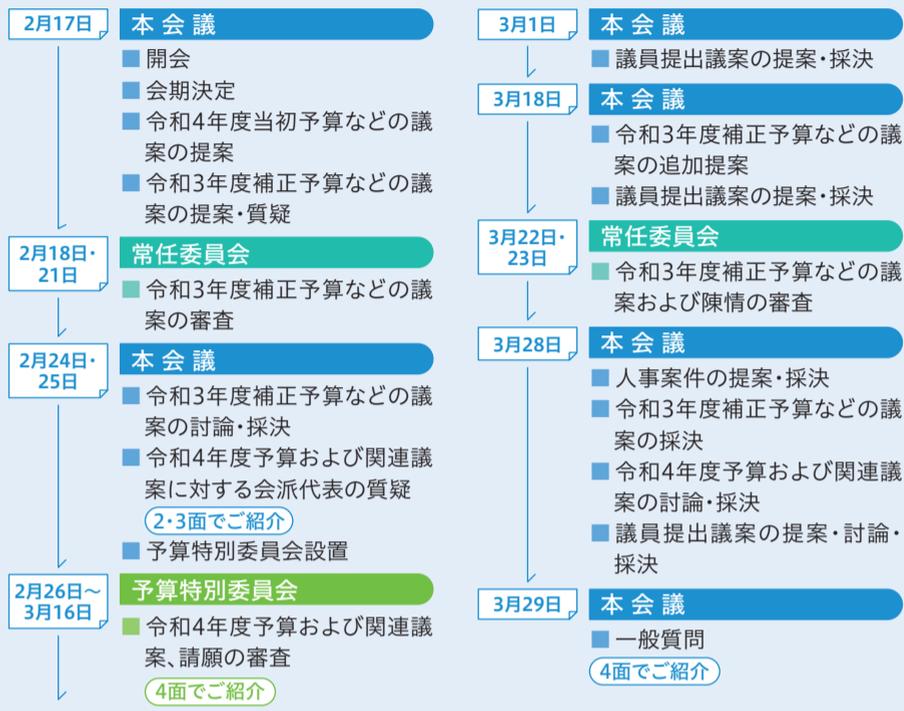
広報紙KOBEより抜き出してお読みください。

令和4年度予算を 可決しました

2月17日、令和4年第1回定例市会を開会しました。会期は6月28日までの132日間です。2月議会(2月17日～3月29日)では令和4年度予算および関連議案を中心に審議しました。
(市長提出87件、議員提出5件、合計92件)

2月17日の本会議において、久元市長などから令和4年度予算および関連議案について説明を受けました。2月24日・25日には各会派の代表者が質疑を行い、その後予算特別委員会を設置、局別に審査を行いました(主な内容は2～4面をご覧ください)。3月28日の本会議ですべての議案を可決しました。

令和4年 第1回定例市会【2月議会】の動き



後半の6月議会は令和4年6月13日(月)から28日(火)までの予定です。

可決した主な議案

令和4年度当初予算

一般会計、特別会計、公営企業会計の総額1兆8,804億円で、いずれも原案どおり可決されました。新型コロナウイルス感染症対策、市民生活・経済活動の維持・回復に最優先で取り組み、コロナ後の新たな時代をリードする施策を積極的に展開していく予算となっています。

令和4年度予算に対する各会派の賛否一覧

○=賛成 ×=反対

件名	自	公	維	共	立	つ	友	国	無 平野章	無 松本し	無 上原	無 村上	結果
一般会計/ 国民健康保険/水道	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
市場/市街地再開発/ 市営住宅/介護保険/ 後期高齢者医療/下水道/ 新都市整備/港湾/自動車/ 高速鉄道	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
食肉センター/ 母子父子寡婦福祉資金貸付/ 駐車場/農業集落排水/ 公債/工業用水道	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

自 自由民主党 公 公明党 維 日本維新の会 共 日本共産党 立 立憲民主党 つ つなぐ 友 国民民主党・友愛 国 共創・国民民主 無 無所属 (会派届出名の略称)

令和3年度補正予算

新型コロナウイルス感染症対策のほか防災・減災、国土強靱化や公共施設などの改修などを実施し、安全安心の確保を図ります。

議員提出議案

- ロシアによるウクライナ侵攻に抗議する決議
ロシアによるウクライナ侵攻に対し厳重に抗議の意を表するとともに、我が国政府に対し、厳格かつ適切な対応を求める決意を表明しました。
- 意見書の提出
次の意見書を可決し国に提出しました。
 - 旧姓の通称使用の拡大やその周知など第5次男女共同参画基本計画に沿った政策推進を求める意見書
 - 文書通信交通滞在費及び立法事務費に関する制度の見直しを求める意見書
 - 国民の祝日「海の日」の7月20日への固定化を求める意見書

未来都市創造に関する特別委員会 市民報告会の開催

当委員会では、「災害に強く、様々な危機にしなやかに対応できる回復力・復元力(レジリエンス)の高いまちづくり」および「神戸ならではの歴史や地形を活かしたまちづくり」をテーマに調査を行ってきました。これらのテーマに基づいた提言書を5月に市長に提出します。

市民報告会では、この提言書の内容のほか委員会の活動を市民の皆さんに報告するとともに、提言に関する皆さんの質問に議員がお答えします。ぜひ、ご参加ください。

日時 令和4年5月27日(金)18時から 場所 市会本会議場(市役所1号館29階・30階) 定員 116名(議員席68席、傍聴席48席)※先着68名が議員席となります。
申し込み 5月9日(月)から5月18日(水)までの間に、神戸市のホームページからお申込みください。(参加には事前申込が必要です。)

(神戸市 未来都市創造に関する特別委員会 市民報告会 | 検索)

※新型コロナウイルスの感染状況により、市民報告会の開催などを取りやめる場合があります。 ※当日の市民報告会の様子はインターネットでも視聴できます。
※質問を希望される方は、神戸市のホームページから事前に登録をお願いします。(報告会当日も質問は受け付けますが、事前に登録された方の質問に優先的にお答えします。)

問い合わせ 神戸市総合コールセンター(☎0570-083330または☎078-333-3330(年中無休8:00～21:00))

本会議での各会派の代表質疑から

2月24日・25日の本会議では、令和4年度予算とそれに関連する議案について、市長・副市長などの考えをたどりました。

その主な内容をご紹介します。(録画映像は神戸市会ホームページでご覧いただけます。→)

議員名(会派届出名の略称、選挙区)

2月24日



2月25日



神戸市会 中継 | 検索

王子公園・動物園

民間委託と市直営施設の基準

— 2月24日の代表質疑から —

かわなみ 河南 ただかず 議員(自由民主党、中央区)



Q 須磨海浜水族園の再整備では民間活力を導入し、エリア全体の魅力向上を図っている。一方、王子動物園は、市による再整備を進めようとしているが、市はどのような基準で民間活力導入の有無を判断しているのか。

A 水族館の多くは、全国的に民間事業者により整備運営されており、須磨海浜水族園は民設民営方式で行うこととした。動物園は全国的に社会教育施設として多くが公営であり、今後も王子動物園は、市が公の施設として責任をもって運営していく。一方、民間活力導入の視点も重要であり、独立行政法人・指定管理者など最適な運営方法についても検討したい。

王子公園の再整備

— 2月24日の代表質疑から —

よしだ けんご 吉田 健吾 議員(自由民主党、灘区)



Q 今の素案のままでは市民の理解と納得を得ることは難しく、これまでの意見を踏まえ、改めて見直し案を作成すべきではないか。今後、一定期間の時間を作りワークショップや対話フォーラムなどを開催し、市民と一緒に作っていくような形で市民の巻き込み方そのものも見直すべきではないか。

A 素案については、いただいたご意見を踏まえ、市民との対話を重視して必要な修正や内容の充実を図った見直しを行っていく。また、再整備に関する情報を伝えることは重要であり、本事業のホームページを活用しながら、わかりやすい情報を発信していきたい。

パブリックコメントの結果から見た「王子公園再整備」の進め方

— 2月24日の代表質疑から —

みき 三木 しんじろう 議員(日本維新の会、中央区)



Q 王子公園の再整備にあたっては、これまでの歴史を活かすとともに、市民・利用者の声や専門家の意見を取り入れるなど、ゾーニングや中身について見直しを行うべきと考える。大学誘致の公募基準・条件を示すとともに、スポーツ施設については廃止ではなく集約することなどで維持できないのか。また園舎の老朽化対策についての見解を伺いたい。

A 大学については、地域に開かれた競争力の高い大学を誘致したい。ゾーニングや施設配置のあり方については、意見を踏まえた上で一定の見直しを図るとともに、動物園の再整備では、未利用園舎の活用も含め検討していく。

王子公園の再整備

— 2月25日の代表質疑から —

あじくち 味口 としゆき 議員(日本共産党、灘区)



Q 「再整備基本方針(素案)」に対するパブリックコメントでは、市内外から多くの意見が寄せられた。神戸市の提案に多くの市民が異議を唱えているにもかかわらず、大学誘致ありきで、市民が大切にしてきた遊園地やプールなどの施設を廃止する計画を押し通すことは許されないと考えるがどうか。

A 市民意見募集の結果を踏まえ、改めて大学誘致の目的や効果について理解を求めるとともに、王子公園再整備全体の方向性やゾーニング、土地利用を改めて検討するなかで個々の施設のあり方も検討し、廃止せざるを得ない施設は代替性や他の機能で補完できないか検討したい。

教育・こども

中学校における部活動の運営

— 2月24日の代表質疑から —

みぶ じゆん 壬生 潤 議員(公明党、垂水区)



Q 多忙化する教員の働き方改革が喫緊の課題となる中、神戸市でも教員の負担軽減と部活動の維持継続に努めているが、現状では十分とはいえない。顧問教員に代わり部活動を運営できる外部指導員を各地域で増員し、外部顧問に任せる部活動を増やしていく必要があると考えるがどうか。

A 部活動については、教員の働き方改革の推進のほか、指導に必要な専門性を有する人材の確保、学校の小規模化に伴う活動の維持、地域に移行した場合の安全管理など多くの課題がある。子どもたちにとって望ましい部活動のあり方について、国の動向も注視しながら検討していきたい。

生徒のニーズに応じた学校運営

— 2月25日の代表質疑から —

かがわ しんじ 香川 真二 議員(つなぐ、西区)



Q 今後の学校運営として、状況をよく知る現場の先生がアイデアを構想し実行して、魅力的な教育が広がることが理想と考える。先日、会派で中学校の「習熟度別授業」や「校内フリースクール」を視察したが、これまでの画一的な教育ではなく、このような生徒のニーズに応じた取り組みを拡大すべきと考えるがどうか。

A 多くの学校で「同室複数指導」や「習熟度別授業」など各校の実情に応じたきめ細やかな学習のサポートに努めている。今後、工夫ある取り組み事例を全校に発信するとともに学校現場とも意見交換しながら、学習体制の充実に向けて取り組みたい。

まち・くらし

人口減少社会におけるまちづくりのあり方

— 2月24日の代表質疑から —

こうたろう 高太郎 議員(自由民主党、垂水区)



Q 神戸市は人口が減少しているが市民満足度が高く、神戸の環境を生かした活力あるまちづくりに重点をおいた政策展開をすべきと考える。規制を緩和する用途地域の見直しが進められているが、目的と効果を伺いたい。また、しっかりとした市民への説明と理解が必要ではないか。

A 用途地域などの見直しを地域特性に応じて適切に講じることで「住みやすく働きやすいまち」の実現を目指し、市域全体の人口減少対策へつなげたい。また市民生活に大きな影響を及ぼすため、広報紙や説明会での周知を丁寧に行い、さまざまな意見を聞いた上で最終的な案を固めたい。

須磨エリア拠点公園の活性化

— 2月24日の代表質疑から —

すみもと 住本 かずのり 議員(日本維新の会、須磨区)



Q 落合中央公園はかつての摂津と播磨の国境に位置する落合池があるほか、化石が出土したり、約50種類もの野鳥が観察されるなど自然豊かな公園でもある。再整備にあたっては、歴史性・自然環境を活かした教育的観点や住民との親和性を取り込んだ検討をすべきではないか。

A リノベーションにあたっては、駅からのアクセス改善による回遊性の向上や豊かな自然環境の活用、子どもがワクワクする遊具の設置などに取り組む。地域の歴史文化を伝える貴重な資源でもあり、教育的観点も踏まえながらさまざまな公園の特色を活かして取り組むことで魅力を高めていきたい。

六甲アイランドの活性化

— 2月25日の代表質疑から —

やの こうじ 議員(立憲民主党、東灘区)



Q ファッションプラザは、依然として空き店舗が多く、かつて映画館やさまざまな商業施設などが入居していた頃の賑わいが失われたままである。ファッションプラザを六甲アイランドの拠点施設として、ビルの民間所有者とも連携を図りながら賑わい創出に取り組むべきと考えるがどうか。

A ファッションプラザは現在のビル所有者が積極的にテナント誘致を行っているが、新型コロナの影響もあり苦戦している。ファッションプラザの再生は六甲アイランドの賑わいにとって非常に重要であると認識しており、本市としても引き続き連携して再生に取り組んでいきたい。

神戸空港の体制強化

— 2月25日の代表質疑から —

ひらの しょうざん
平野 章三議員(無所属、垂水区)



Q 関西経済の底上げを図るため関西全体の航空需要拡大が求められている。神戸空港の国際化を含めた空港機能のあり方の検討を深化させ、次回の関西3空港懇談会での報告決定により、神戸空港の機能強化にスピード感と大胆な提案が必要ではないか。

A 関空、伊丹を補完する観点から、神戸空港の国際化を含む空港機能のあり方を関西3空港懇談会の関係者と検討し、関西全体の航空需要の回復拡大、関西経済の成長に取り組んでいく。

しあわせの村に
ドッグラン新設を

— 2月25日の代表質疑から —

うえはら
上原 みなみ議員(無所属、北区)



Q こうべ動物共生センターがオープンしたしあわせの村に、ドッグランを新設し、ペットと一緒に泊まれる宿泊エリアを設ければ、魅力は飛躍的に向上し、他都市からも訪れる人は多くなると思うがどうか。

A ドッグランの新設やペットと一緒に宿泊できることは一つの魅力であるが課題もある。この視点を踏まえて議論することは重要だが、現時点ではこうべ動物共生センターをPRすることにより、市民が犬と共生する活動を推進していきたい。

行 財 政

代表電話業務と
総合コールセンターの対応

— 2月24日の代表質疑から —

かわなみ
河南 ただかず議員(自由民主党、中央区)



Q 代表電話・総合コールセンターの対応が市民に寄り添っていないという苦情を聞く。神戸市として何が原因と認識し、今後どのように改善していくのか。

A 原因は、オペレーターの詳細な聞き取り、検索システムの課題、市民が待っていることを念頭に置かないなど職員の対応に問題があると認識している。現在、早急な改善に努めており、対応マニュアルの見直し、転送先を簡単に特定できるシステムの改修に取り組んでいる。市民との最初の重要な接点であるため、市民目線の寄り添った対応となるよう、現場の声も聞きながら対応品質の改善を図りたい。

区役所における業務委託

— 2月25日の代表質疑から —

むらかみ たつま
村上 立真議員(無所属、兵庫区)



Q 兵庫区役所などで市民課の定型業務の委託が開始されたが、これまでの経験や実情を踏まえて委託範囲や業務内容を柔軟に変更し、サービスの質を担保すべきだがどうか。また業務の線引きに関する考え方を伺いたい。

A 委託準備の手法や期間、業務範囲や業務フローなどについて、市民サービス向上のために柔軟に見直しを行いたい。委託対象業務に疑義が生じた場合は受託事業者と協議の上、線引きを明確化していく。

🗨️ コロナ支援

コロナ禍で孤立した
女性への支援

— 2月24日の代表質疑から —

のきはら じゅんこ
軒原 順子議員(公明党、長田区)



Q コロナ禍で孤立しさまざまな困難を抱える女性を支援するため、令和3年9月に「女性のためのつながりサポート神戸」が開始された。コロナの長期化が想定されることから、今後も事業を継続・拡充すべきと考えるが、これまでの成果や相談会で明らかになった課題、今後の展望を伺いたい。

A 女性のためのつながりサポート事業として、電話相談、各分野の女性専門家による面接相談、災害備蓄品を活用した生理用品の無償配布を実施している。今後、支援メニューの追加・拡充や相談会場の増などを検討し、困難や不安を抱える女性を支援していきたい。

コロナ禍で苦しむ
中小事業者への支援

— 2月25日の代表質疑から —

はやし
林 まさひと議員(日本共産党、西区)



Q 国・県による支援策は、中小事業者が自ら申請するには非常にハードルが高い。経済活動を支える中小事業者などが、これ以上廃業や倒産に追い込まれないよう、地元をよく知る神戸市が事業継続のための温かい支援制度をつくるべきと考えるがどうか。

A 市内事業者が国・県の支援制度を活用するために市がサポートすることは大変重要であると考えており、国の支援制度の申請に係る経費を支援するほか、申請手続きに関する相談窓口の設置などを実施している。引き続き、市内事業者の実態を把握し、国・県の施策を補完する事業者支援策について検討していきたい。

孤立する若者や
ひとり親家庭などに対する行政支援

— 2月25日の代表質疑から —

いさやま だいすけ
諫山 大介議員(共創・国民民主、灘区)



Q コロナ禍において、収入減などで若者やひとり親世帯などの経済的に余裕のない人に大きな影響が生じている。制度のはざままで支援が届かず孤立する若者もいることから、どのようにして行政支援に結び付けていくのか、見解を伺う。

A 令和3年度から食品などの提供を通じて子育て世帯や女性を支援につなげる取り組みを開始しており、令和4年度には生活困窮者に対する生活相談会を実施する。民間団体と連携した相談のきっかけとなる取り組みや、若者などに対する分かりやすい広報を行うことが重要である。効果的な施策展開について引き続き検討したい。

🤝 健康・福祉

ヤングケアラーへの支援

— 2月24日の代表質疑から —

のきはら じゅんこ
軒原 順子議員(公明党、長田区)



Q 神戸市では令和3年6月に全国で初めてこども・若者ケアラー専用相談窓口を開設し、令和4年度から新たにヤングケアラー世帯への訪問支援事業を開始する。既存の制度の狭間にあるヤングケアラーに手を差し伸べていけるようしっかりと取り組むべきと考えるがどうか。

A 学校関係者や地域の支援者などを対象に研修会を開催してケアラーに対する理解を促進するとともに、訪問支援事業と並行して区保健福祉部の職員が必要な相談支援を実施し、介護保険や障害福祉サービスへの移行を促すなど、当事者である子どもの恒常的な負担軽減に全力で取り組んでいきたい。

医療人材の育成・確保

— 2月25日の代表質疑から —

つよし
たなびき 剛議員(立憲民主党、垂水区)



Q 新型コロナウイルスの収束が見通せない中、医療人材の育成・確保は重要な課題であり、特に離職率が高い看護師の確保は急務である。神戸市においても看護大学の定員を増やすとともに、潜在看護師に対する支援を展開するなど、さらなる取り組みを強化すべきではないか。

A 潜在看護師を含む看護師の確保のため、県に対し人材確保や離職防止、再就職支援のための総合的な施策の充実を要望する一方で、神戸市看護大学の望ましい定員について、大学と継続的に検討を行い、一人でも多くの優れた看護人材を市内医療機関などに供給できるよう、取り組んでいきたい。

認知症神戸モデルの
今後の取り組み

— 2月25日の代表質疑から —

おおい
大井 としひろ議員(国民民主党・友愛、須磨区)



Q これまでの3年間で認知症や軽度認知障害と診断された方が多数おられるが、診断後の生活ではその方々やご家族への支援、地域の理解が重要になってくる。令和4年度からの取り組みについて新たな施策も含めて見解を伺う。

A これまでの「認知症サポーター養成講座」に加え、令和4年度秋頃からは、地域の認知症に対する理解を深め、認知症の方の社会参加促進を目的として各種地域団体へ専門職を無料派遣する「認知症地域支えあい推進事業」を開始する予定である。今後とも認知症神戸モデルの取り組みと併せて、診断前から診断後まで切れ目のない支援を行いたい。



予算特別委員会の質疑から

神戸市会 中継 | 検索

3月14日



予算特別委員会

議員67名で構成。
委員長 村野誠一
副委員長 徳山敏子
三木しんじろう
林まさひと

予算特別委員会では、令和4年度予算および関連議案について審査しました。委員会は、2月25日に設置され、2月28日から3つの分科会で局ごとに審査した後、3月14日には総括質疑を、3月28日の本会議では市長に対して要望を行いました。(録画映像は神戸市会ホームページでご覧いただけます。→) 議員名(会派届出名の略称、選挙区)

谷上地域の活性化

—3月14日の予算特別委員会から—

うえなか まさこ
植中 雅子議員(自由民主党、北区)



- Q 北区の玄関口として谷上駅周辺の魅力向上が必要である。駅周辺に避難所や児童館などの機能を集積するほか、上谷上地区についても市が積極的に地域に関与し、スピード感を持って活性化を図るべきではないか。
- A 谷上駅周辺では駅前広場の再整備の検討や駅周辺の土地活用に向け地権者などと話し合いを進めている。上谷上地区では、まず住民が地区のあり方を話し合っただき、市は専門家派遣制度の紹介や活用の働きかけなど積極的に取り組んでいきたい。

大規模公園のあり方

—3月14日の予算特別委員会から—

やまもと
山本のりかず議員(日本維新の会、北区)



- Q 大規模公園は稼げる神戸となるポテンシャルを有しており、資産的な価値を高めていくべきと考えるが、「大規模公園ビジョン」の取り組み状況を伺う。取り組み中の神戸青少年公園では今後どのように進めていくのか。
- A ビジョンでは、民間活力を導入し公園のさらなる魅力向上を図ることとし、サウンディング型市場調査※2で頂いた提案の事業化に向けた検討を進めている。神戸青少年公園では宿泊キャンプの試験結果を踏まえ、令和5年度中の事業開始を目指す。

女性が輝く神戸のまちへ

—3月14日の予算特別委員会から—

いとう
伊藤 めぐみ議員(立憲民主党、北区)



- Q 神戸市の女性活躍推進をさらに加速させるためには、政策の意思決定の場に女性が参画することが重要であり、女性の管理職登用を増やすなど、今まで以上に取り組みの強化が必要と考えるがどうか。
- A 意思決定の場への女性の参画は重要と考えており、積極的に幹部登用や審議会などの委員への選任を進めているところである。令和4年4月の人事でも女性の管理職登用を進め、「女性が輝く神戸のまち」の実現に向けてしっかりと取り組んでいきたい。

乳がん検診時の不安解消への取り組み

—3月14日の予算特別委員会から—

とくやま としこ
徳山 敏子議員(公明党、北区)



- Q 神戸市では、令和4年2月より乳がん検診時に高濃度乳房※1の本人通知やリーフレットの送付を開始したが、高濃度乳房の通知を受け不安を抱える方に寄り添った丁寧な説明を行うため、さらなる取り組みが必要と考えるがどうか。
- A 高濃度乳房はその人の体質であり病気ではないことから、高濃度乳房の通知を受けた方が過剰に心配することのないよう、今後、気軽に相談できるような医療職による相談窓口の設置について検討したい。

行財政改革

—3月14日の予算特別委員会から—

あさくら こ
朝倉 えつ子議員(日本共産党、北区)



- Q 女性の賃金格差が問題になっている中、神戸市では非正規の会計年度任用職員が7割以上の職場もあり、その多くが女性である。公務労働の現場から非正規のワーキングプアを生み出すようなことはやめるべきと考えるがどうか。
- A 会計年度任用職員の給与は国の示す考え方に基づいて適切に決定している。今後ともニーズに応じた多様な働き方を推進するとともに、必要に応じて臨時・非常勤の職員を活用することで、より効率的・効果的な業務運営を行っていく。

市営住宅におけるアスベスト調査の検証

—3月14日の予算特別委員会から—

たかはし
高橋 ひでのり議員(つなぐ、垂水区)



- Q 下山手住宅解体工事のアスベスト含有調査について、複数の調査でアスベスト含有の有無が異なる結果となった。専門機関である建築物石綿含有建材調査者協会が分析結果を検証すると回答したが、神戸市ではなぜ検証しないのか。
- A 本市から調査結果が異なることについて検証が可能か問い合わせたところ、同協会より再度調査を行うことはできると回答があった。一方で検証によっても含有する結果は否定できないことから、検証の必要はないと考える。

質疑した他の議員

おおい
大井 としひろ議員(国民民主党・友愛、須磨区)

いさやま だいすけ
諫山 大介議員(共創・国民民主、灘区)

ひらの しょうざん
平野 章三議員(無所属、垂水区)

うえはら
上原 みなみ議員(無所属、北区)

むらかみ たつま
村上 立真議員(無所属、兵庫区)

用語説明 ※1 高濃度乳房…乳房の中の乳腺が多いタイプの乳房。マンモグラフィで乳腺が白く写ることから、がんが見つかりにくいと考えられている

※2 サウンディング型市場調査…事業発案段階や事業化段階において、民間事業者の意見や新たな提案の把握などを行うことで、対象事業の検討を進展させるための情報収集を目的とした手法

要望事項

3月28日の本会議で、村野誠一予算特別委員会委員長から、市長に対し要望を行いました。

- 新型コロナウイルス対策
保健・医療提供体制を拡充し、市民の命と健康を守るための対策を徹底された。また、子どもの接種に対する不安の解消に努めることに加え、3回目のワクチン接種を円滑に進めるなど、引き続き、新型コロナウイルス対策に万全を期されたい。
- 王子公園の再整備
大学誘致や各施設のあり方などについて、ワークショップの開催など、利用者や市民の意見を十分に踏まえて、市民の理解が得られるものに見直されたい。
- スポーツ振興に資する環境整備
国際大会で活躍する、アスリートの選手育成と練習の拠点を整備されたい。また、都市公園におけるアーバンスポーツ施設の整備、老朽体育館の改修やインクルーシブ公園の計画的整備などにより、全ての市民のスポーツ振興に資する環境整備に努められたい。
- 子育て支援などの強化
子どもの居場所の確保とその充実、さらなる子育て世帯の負担軽減など、区役所と連携した情報配信を含む、子育て支援策を強化されたい。
- 学びの保障
学級閉鎖などにより、子どもたちの学習に遅れが生じないよう、オンラインによる学習支援を実施するほか、可能な限り、学校行事や課外活動を実施することにより、コロナ禍における、子どもたちの心のケアと、学びを保障されたい。
- 神戸空港の機能強化
関西3空港懇談会の協議を踏まえ、2025年をめどに、国際化を含む神戸空港の機能強化に全力で取り組み、今後の航空需要に対応できる体制を実現されたい。
- 市役所業務の委託
代表電話や区役所業務などの民間委託については、市民に寄り添う行政サービスに努められたい。

一般質問

議員が個人の立場や観点で質問しました。

3月29日



(録画映像は神戸市会ホームページでご覧いただけます。→)
議員名(会派届出名の略称、選挙区)

もりや たかし
守屋 隆司議員(自由民主党、兵庫区)

- 1 ウクライナからの避難民支援
- 2 災害派遣
- 3 LRTの導入
- 4 中小零細企業への支援

ごとう だいすけ
五島 大亮議員(自由民主党、北区)

- 1 神戸市のごみ行政
- 2 総合大学の創設
- 3 外郭団体の見直し
- 4 こどもの居場所づくり
- 5 仮想空間「神戸市第10区計画」

どうした とよじ
堂下 豊史議員(公明党、北区)

- 1 デジタル分野における女性の就労促進
- 2 フードバンク活動推進によるこども食堂支援
- 3 AI標識による移動支援
- 4 自動車燃料費助成
- 5 神戸三田線の渋滞対策

そとみ かいぞう
外海 開三議員(日本維新の会、東灘区)

- 1 外郭団体改革
- 2 大阪・関西万博に向けた取り組み
- 3 六甲アイランドまちの将来のあり方
- 4 スケートボードによる危険行為の防止
- 5 精神障害者への支援

もりもと しん
森本 真議員(日本共産党、長田区)

- 1 新長田再開発
- 2 新興感染症にも対応できる病床の確保
- 3 県立高等学校の統廃合

ゆきお
かじ 幸夫議員(立憲民主党、西区)

- 1 公共交通中心の総合交通体系の構築
- 2 学校教育に対する子どもたちの参画推進

こばやし こ
小林 るみ子議員(つなぐ、灘区)

- 1 子宮頸がんワクチンの積極的勧奨
- 2 こどもの居場所事業